



膨張するゴムでもしもの時に備える！

## 火災時に炎の貫通を防ぐ熱膨張ゴム

-住宅のあらゆる隙間に設置することで万一の火災時の延焼を最小限に抑えます-

### 膨張前



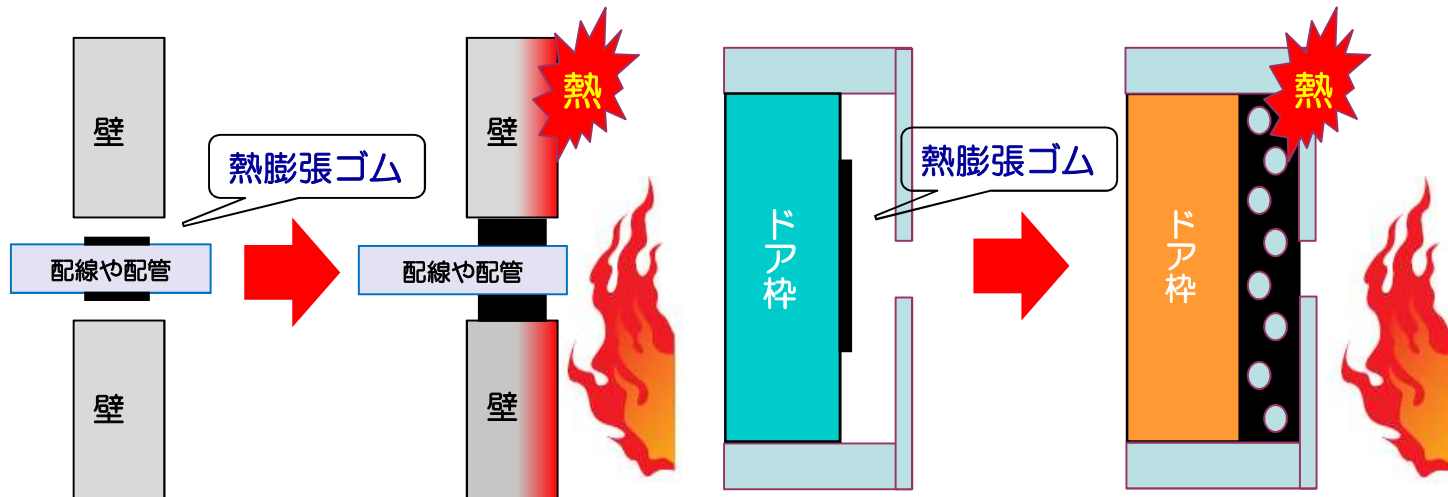
### 膨張後



※10mm角のゴムシートを400度雰囲気下にて5分間放置

### 用途

窓サッシ、ドア、コンセント、配管、外壁パネル等周辺の隙間、継手部などに設置することで、火災時の熱により熱膨張断熱ゴムが膨張して隙間を埋め、延焼を最小限に抑えます！



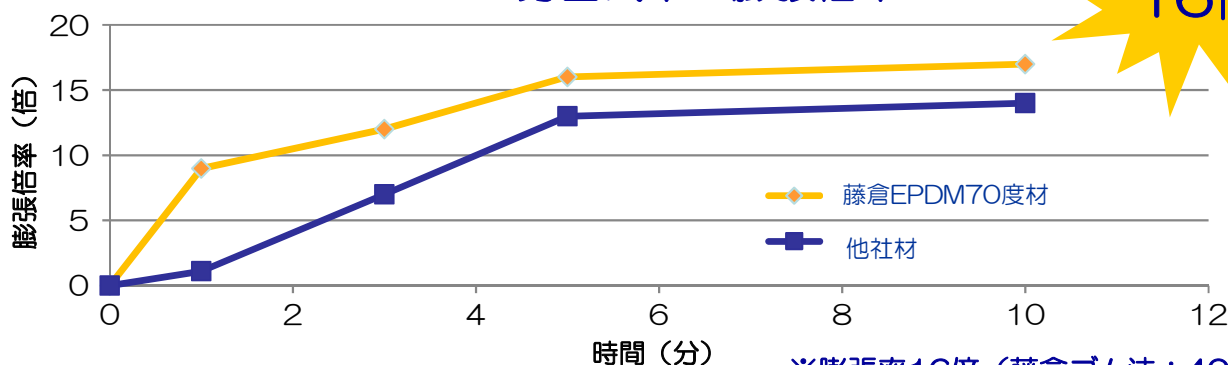
### 特徴

- ◎使用環境に合わせた材料のカスタマイズが可能です！  
(膨張倍率・開始温度、耐候性・耐水性・耐油性・耐寒性など)
- ◎納入形態のカスタマイズが可能です！(シート、テープ、型物など)
- ◎ゴム物性を付与することで通常時はシール部品として使用も可能です！
- ◎ゴム系材料のため一般工具での加工が容易です！

# 各種データ

## ◎膨張率

400℃雰囲気中の膨張倍率



※膨張率16倍 (藤倉ゴム法 : 400℃×10分)

## ◎耐火性

小型耐火炉試験実施済み (ISO834)

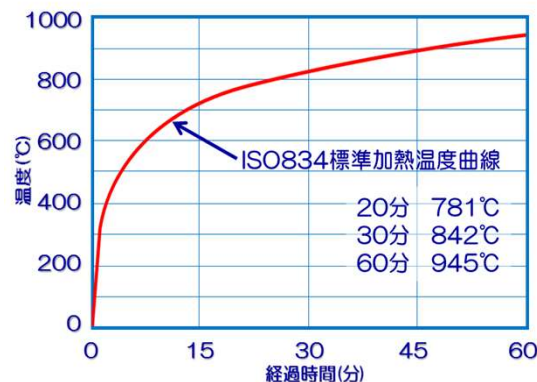
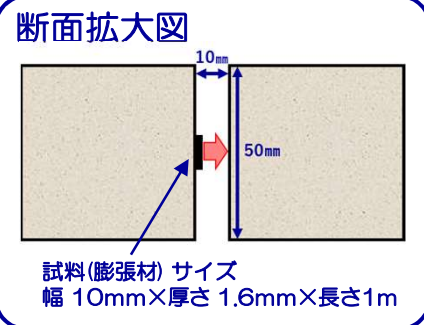
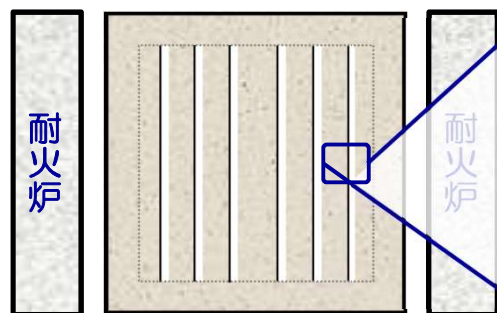
実績のある他社品との比較試験で同等相当との結果を得ています



ISO834標準加熱曲線に応じた60分加熱試験を実施  
試料は弊社熱膨張材のほか、  
比較用として市場実績多数の他社材を同時に投入

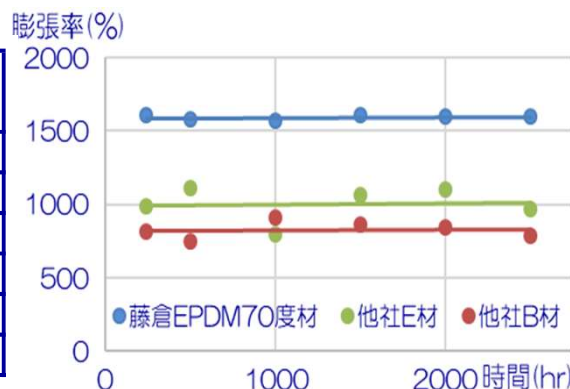
【合否基準】

- ①非加熱側へ10秒を超えて継続する火炎の噴出が無い事
- ②非加熱側へ10秒を超えて継続する発炎が無い事
- ③火炎が通る亀裂等の損傷及び隙間を生じない事



## ◎長期保管想定時の膨張倍率

長期性能試験		他社B材	他社E材	藤倉ゴム EPDM70度材
温度 80℃×85% 放置後の膨張倍率 (%)	時間			
	240	813	985	1605
	500	752	1108	1580
	1000	916	798	1568
	1500	865	1065	1611
	2000	842	1102	1600
	2500	783	967	1598



※膨張試験方法 600℃×20分

詳細は弊社HPからもお問合せいただけます。QRコードもしくは“熱膨張ゴム”で検索ください。  
RDTR07-0118 20150703



藤倉コンポジット株式会社  
FUJIKURA COMPOSITES Inc.

営業本部 工業用品営業部  
〒135-0063 東京都江東区有明3-5-7  
TOC有明イーストタワー10F  
fujikura\_kouyou@fc.fujikura.co.jp